

5/16吳福

# 基地のない沖縄遠く

復帰51年 辺野古住民ら声上げる

沖縄は十五日、一九七二年の日本復帰から五一  
年を迎えた。広大な米軍基地に加え、近年は中國の海  
洋進出を頭に自衛隊基地が立て環場に隣接するギヤンブ・シユワブ（名護市など）のゲート前で「基地建設を止めよ」と声を上げた。

め立「環境」に意を用ひ、アーヴィング・シーウッド（名護市など）のバーント前、「基礎建設を止めよう」と訴を上げた。

も強化され、復帰当時に県民が望んだ「基地のない平和の島」の実現は遠い。米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設に反対する地元住民らは、埋

も強化され、復帰当時に県民が望んだ「基地のない平和の島」の実現は遠い。米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設に反対する地元住民らは、埋

米軍普天間飛行場の移設工事に反対し、キャンプ・ショウワのゲート前で抗議する人たち＝15日前、沖縄県名護市辺野古で

設は一万八千四百八十三件  
(二年三月末現在)で全  
国70・3%が集中。普天  
間飛行場の辺野古移設を巡  
り県と国との訴訟が続  
き、一九九六年の返還合意から  
二十七年が経過しても道筋  
は見えない。

昨年一月、嘉手納基地（嘉手納町など）周辺住民約三万五千五百人が米軍機の騒音で健康を害したとして、飛行差し止めと損害賠償を国に求め提訴した。